



いこいな
©シンエイ/西東京市

にしとうきょう

風水害には在宅避難を



これより高い場所に
避難しましょう

旭のかりん糖 西東京市
スポーツセンター前での
浸水深

1m

大雨のときにできること

「在宅避難」で移動時の危険を回避

近年は、全国各地で過去に経験のない大雨などによる、今までにない災害が起こることも増えています。

市内では、50cm～1mの浸水が予想されている地域がありますが、ほとんどの地域では12時間以内に水が引きます。2階以上が浸水することはないため、自宅が2階建ての場合、在宅避難を推奨しています。

風雨が強くなってからはむやみに外出しないようにし、特にアンダーパスや半地下・地下は大雨のときは利用しないようにしましょう。

▶危機管理課 保 042-438-4010

突発的な集中豪雨の前にできること

「飲料水・食料」の備蓄

災害時には最低3日分、できれば7日分の備蓄が必要です。飲料水は、1人1日3リットルが目安。おすすめの備蓄方法は「ローリングストック」です。これは、普段の食事で利用する缶詰やレトルト食品、飲料水を少し多めに買い置きし、製造日の古いものから使い、使った分を買い足して常に一定量の備えがある状態を保つ方法です。

「情報」を得る手段を確保

いざという時のために、1人1つは、情報手段の確保を！！

スマートフォンを活用

防災・防犯に関する情報を届ける「安全・安心いーなメール」は、市公式LINEと連携しています。いち早く情報が届くようにLINEで友だち追加し、受信設定で「安全・安心」を設定しましょう。また、メニューには、防災専用ページを設置しています。最新の気象情報や河川水位、ハザードマップ・避難所情報などすぐに見ることができます。

LINE
友だち追加は
こちら



① 通常のメニュー

② 防災メニュー

メールで情報を
受け取りたい人はこちら



音声情報を活用

市では、屋外スピーカーから、防災情報などを放送しています。天候などにより室内では聞こえにくい場合もあるため、室内で放送を聞くことができる「防災行政無線戸別受信機」を貸し出しています。ご希望の方は下記窓口まで



場 危機管理課(防災・保谷保健福祉総合センター5階)、高齢者支援課(田無第二庁舎1階)、総務課(田無庁舎5階)、障害福祉課(田無庁舎1階) 在 在住の方 在 在住確認ができるもの(運転免許証・保険証など)

※代理人申請の場合、使用者が在住であることが確認できる書類の写しをご用意ください。

合同総合水防訓練

岡 西東京消防署 保 042-421-0119

▶危機管理課 保 042-438-4010

集中豪雨や台風などによる水害に備えて、市・西東京消防署・田無警察署・消防団・東京消防庁災害時支援ボランティアなどが合同で訓練を実施します。

時 5月25日(日)午前9時30分～11時 場 都立東伏見公園 内 ●消防隊や消防団による「連結水のう工法」や「改良積土のう工法」 ●家庭にある身近な資材を活用した「簡易水防工法」など